



一商だより

第4号

宮城県一迫商業高等学校
平成27年8月26日発行

「夏休みは良かったあ。」時の流れは1秒1秒等しく変わらないはずなのに、楽しい日々は、なんか時計が早く進んでいるような気がします。(そう感じるのはあなただけではございません) 甲子園が終わる... の頃には、仙台育英の感動はさておき、「今日が夏休みの始まりだったらいいのに。せめてあと1週間長ければ...。」と思い、あり得ないその非現実的な発想しかできない自分に落ち込んだのでした。結構女々しい^注私(笑)

8月20日、第97回全国高校野球選手権大会、夏の甲子園決勝戦が行われました。努力したからといって必ずしもたどり着けるものでもない、しかし努力しなければたどり着けない**甲子園**、全国の野球球児の目標**甲子園**。連投の疲れを顔に出さず投げ抜いたエース佐藤世那くん、6回表ライトオーバーの大飛球をスーパーキャッチした佐々木柇野くん、6回裏執念の同点3塁打を放った佐沼中学出身佐藤将太くん... 惜しくも優勝旗の白河越えは次代への持ち越しとなったが、最後まで諦めない気持ちの大切さを学び、感動をいただきました。佐々木柇野主将は母子家庭で、この大会で野球を辞めて消防士を目指すという。おそらくは辞めたくないのだろう、今まで野球を続けさせてくれたお母さんに恩返しをしたいのだろう。それぞれの人生に幸多からんことを願う。甲子園が終わり、22日からは秋季高校野球県大会地区予選が始まる。本校硬式野球部の躍進を期待する。

さて、夏は話題に事欠かなかった。集中豪雨・竜巻・台風など気象関係、どこぞの夏祭り・花火大会、インターハイ・甲子園大会、そして、私たち日本人が忘れてはならないのが戦争、広島・長崎の原爆、玉音(ぎょくおん)放送、出征兵の遺書、遺族の手記、伝えたい戦争体験等の報道は、私たちが後世に伝えていかなければならない事柄の一つ。現在を楽しむこと、自分のことしか考えられない、おバカな社会人ではなく、歴史を知り、将来を展望する社会人になってほしい。

ワンポイント 女々しい^注 ゴールデンボンバーの「女々しくて」で知っているよね?!

「めめしくて」と読みます。一般に男性に対し使われる言葉です。一般に女性は井戸端会議(いどばたかいぎ)で、食器洗いや洗濯などしながら、日頃の愚痴をご近所の奥様方と語り合いストレスを発散していることがありました。現代でもスーパーの入り口や通路等で数人の奥様方がおしゃべりをしている光景が見られます。対して男性は「不言実行」とか「男は黙って～」等に象徴されるように、多くを語らずが武家社会の男性像のようです。男性が愚痴をこぼしたり、いつまでもグチグチと未練たらしくしているようなときによく使われる言葉です。

就職試験に出たら100点取れるかも(ゝゝゝ)ゝ

本は読みましたか？ 私は2冊だけ読みましたよ、少なかった～。

校長先生は、1学期の終業式で「本を読みなさい。」というお話しをしました。文章を読まない、人の気持ちの動き、文脈や同音異語の漢字を覚えられない、ワープロ検定にも合格できないよということでした。私は2冊読みました。

1冊は「最後の将軍」司馬遼太郎(著)1600年の関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康が江戸幕府を開いて以来、14代(260年ほど)続いた幕府の第15代、最後の将軍、徳川慶喜、彼が幕府を閉じて大政奉還するまでの小説です。江戸時代末期の緊迫感はもちろん、いつ読んでも、その時代に生きていて、事の子細を知っていたかのような司馬遼太郎のすばらしさに、「はい論破」。

もう1冊は「122対0の青春」青森県立深浦高校が、青森県の甲子園予選で大敗した試合です。3年9ヶ月後、深浦高校は公式戦に勝利します。投げ出しくなっても最後まで闘い、めげずに夢を追い、努力を続けた物語です。

出征兵の遺書 わずか18歳で戦死した彼に君は何を感じるのか

父上、母上様。
いよいよ出撃します。
今までの不幸、なにと
ぞお許し下さい。
この手紙が届く頃は立派
に戦っております。
これが最後の手紙となる
ことでしょうか。
いま大急ぎで書いており
ます。先便にて私の胸中
は：
なにとぞ皆様、お元氣
でお暮らし下さい。神か
けてお祈りいたします。
立派に戦い、死ぬ決心で
す。小生戦死の報が届い
たならば、一言でかした
とほめて下さい。
飛行機はプロペラを回し
ております。もう搭乗員
整列です。元氣で頑張り
ます。
皆様によろしく。乱筆に
て御免。
昭和二十年三月二十八日
十七時三十分
平成二十七年七月三十日
河北新報掲載
(かな表記等一部修正)

これは昭和20年(1945)年3月28日、8月15日が終戦だから、戦争が終わる4ヶ月程前、沖縄海戦で特攻^注戦死した福島県出身の18歳、松本伝三郎さん(海軍一等飛行兵曹)が、まさに飛び立とうとする間際に行った遺書である。前の手紙でおそらく思い出や感謝の気持ちを綴っているのに最後にまた書きたくなった。相当乱筆であったと思う、片道分の燃料を積んだだけの戦闘機での出撃。直前まで父、母を思う気持ちを想像できるだろうか。

日本の平和は過去の尊い犠牲の上にある。

ワンポイント 特攻^注(特別攻撃隊) 人の命は誰のものか、部活も恋愛も無い青春。

太平洋戦争末期、日本軍は片道分の燃料と爆弾を搭載した飛行機や高速艇、1人乗り潜水艦で、敵の戦艦めがけて体当たり攻撃を行った。アメリカ軍(現在の日本でも)から見ると到底正気の沙汰ではなく、tokko(トッコウ)、kamikaze(カミカゼ)と呼ばれ恐れられた。特攻による死者は6,418人。特攻隊の年齢はほとんどが17歳から24歳の若者。

田んぼでは穂が出ていますね 実るほど頭(こうべ)を垂(た)れる稲穂かな-ことわざだよ-

気付いていました?ねえ、5月のゴールデンウィーク辺りに田植えしていたはずなのに、早いものです。先月、出穂した頃の稲穂は真っ直ぐ上を向いていましたが、今はお米らしく、だんだん下を向いてきていますね。

時々、威張っている人をお見かけします。でもこういう人に限って、自分より上の人には媚(こ)びへつらいがちです。こういう人に、昔の人はこのことわざで諫(いさ)めました。稲穂は中味が実るほど穂先が下を見ることから、人も人格者であればあるほど、周囲に対して思いやりを持って謙虚に振る舞うものだという教えです。このような人になりたいものです。逆の意味で「弱い犬ほどよく吠える」ということわざがあります。自分に自信がない人、劣等感を持っている人ほど、虚勢(きょせい)を張り相手を威嚇(いかく)したり、怒ったり、大声を出したりして...自分の弱さを隠している様子をいいます。

Thanks & Please 御礼とお願い -地域の皆様方へ-

8月20日、甲子園決勝、仙台藤崎百貨店前に大型テレビが設置され、パブリックビューイングが行われました。1プレイごとに歓声や拍手がおき、6回の同点に追いついた場面では大歓声とともに飛び上がって喜ぶ人、隣の人と抱き合う風景が放送されました。知らない人の応援を知らない人同士がする光景というのは、今の時代なかなか見られるものではありません。

本校生徒も少人数でありながら、部活動やボランティア活動に頑張っています。今後とも感謝の気持ちを忘れず、「地域を支える・日本を支える人材の育成」のため、学校創りを進めて参ります。今後ともご支援よろしくごお願い申し上げます。

電話0228-52-4112 (教頭 狩野)